



2023年9月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年2月7日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社FOOD & LIFE COMPANIES
 コード番号 3563 URL <https://www.food-and-life.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 水留 浩一
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員（氏名） 吉田 剛（TEL）06-6368-1001
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満四捨五入）

1. 2023年9月期第1四半期の連結業績（2022年10月1日～2022年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	68,004	△5.0	1,570	△71.3	1,078	△79.5	713	△79.0	671	△80.2	△219	—
2022年9月期第1四半期	71,601	20.3	5,469	△22.0	5,255	△21.1	3,389	△17.2	3,388	△17.3	3,963	△4.9
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
	円 銭				円 銭							
2023年9月期第1四半期	5.80				5.77							
2022年9月期第1四半期	29.23				29.07							

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	330,486	62,427	62,367	18.5
2022年9月期	331,982	65,134	65,117	19.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	22.50	22.50
2023年9月期	—	—	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	0.00	—	22.50	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	320,000	13.8	11,000	8.7	9,500	25.6	6,000	65.7	6,000	66.4	51.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー 社 (社名) ー、除外 ー 社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年9月期1Q	116,069,184株	2022年9月期	116,069,184株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2023年9月期1Q	391,284株	2022年9月期	394,448株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年9月期1Q	115,675,062株	2022年9月期1Q	115,910,960株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(販売費及び一般管理費)	11
(1株当たり利益)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2022年9月に新型コロナウイルス第7波が終息したものの、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴い資源価格が高騰しているのみならず、円安が進行しており、様々な物価が高騰し、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましても、同様にロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴う資源価格の高騰や円安、様々な物価の高騰等により引き続き厳しい状況になっております。

このような状況の中、当社グループでは、「変えよう、毎日の美味しさを。広めよう、世界に喜びを。」をVISIONとして、日々の食を美味しくすることで、お客様の生活や人生までゆたかにしたいという願いに向けて、商品開発、店内調理、安心・安全の取り組み及びサービスの向上に取り組んでまいりました。

業態別店舗数は以下のとおりであります。

[当社グループ業態別店舗数]

業態名	前連結会計年度末	出店実績	閉店実績	当第1四半期連結会計期間末
国内：スシローブランド (テイクアウト専門店)	644(18)	8	2(1)	650(17)
国内：杉玉ブランド(FC)	67(15)	5	—	72(15)
国内：京樽ブランド	155(—)	2	—	157(—)
国内：回転寿司みさき・ 三崎丸ブランド	103(—)	—	—	103(—)
国内：その他ブランド	24(—)	1	1	24(—)
国内合計	993(33)	16	3(1)	1,006(32)
海外：スシローブランド (テイクアウト専門店)	87(2)	14	—	101(2)
海外：その他ブランド	3(—)	—	—	3(—)
海外合計	90(2)	14	—	104(2)
国内外合計	1,083(35)	30	3(1)	1,110(34)

() 内は内数でテイクアウト専門店・FCの店舗数

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益68,004百万円（前年同期比5.0%減）、営業利益1,570百万円（前年同期比71.3%減）、税引前四半期利益1,078百万円（前年同期比79.5%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益671百万円（前年同期比80.2%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(国内スシロー事業)

国内スシロー事業につきましては、2022年6月に消費者庁より景品表示法に関する措置命令を受けるなど、お客様の信頼を損ねる事態を招きました。お客様の信頼回復に向けて、商品の販売状況を店内のタッチパネル、ホームページやアプリで表示するなど、新たな取り組みを行っております。

また、円安や水産資源の減少等による食材の調達コスト、物流費、地代、人件費、設備・建設資材の高騰など、飲食業を含めて事業会社を取り巻く環境の変化はこれまでに無いほど急激で大きなものがあり、2022年10月1日より、国内におけるスシロー全店において、価格の改定を行っております。

そのような中、業績回復に向けた取り組みとして、「食欲全開！三貫盛まつり」では、天然本鮪やあわびなどを販売し、「まぐろ祭」では盛りだくさんのまぐろネタを提供し、「冬の豪華ネタまつり」では、濃厚うに包みやのどぐろの炙りなどの豪華ネタをお楽しみいただきました。

以上の結果、国内スシロー事業の売上収益は46,680百万円（前年同期比18.8%減）、セグメント利益は39百万円（前年同期比99.2%減）となりました。

(海外スシロー事業)

海外スシロー事業につきましては、新型コロナによる営業規制が概ね緩和されたものの、中国大陸においては営業規制が行われ、厳しい状況となりました。

そのような中、積極的な事業展開に向けて、中国大陸においては成都の1号店及び2号店を含め、合計6店舗を出店しました。その他の地域では、台湾4店舗、香港2店舗、タイ2店舗と、新規出店を継続し、海外スシロー事業において100店舗オープンを達成しました。

また、来店客数の維持・拡大に向けて、まぐろフェア（中国大陸）、Year end party（韓国）、贅沢海味市うに&えびフェア（台湾）、冬のうまいもんフェア（香港）、北海道フェア（シンガポール）、スシロー感謝祭（タイ）など、魅力的な販促・マーケティング政策を各地域で継続的に実施いたしました。

以上の結果、海外スシロー事業の売上収益は13,845百万円（前年同期比84.8%増）、セグメント利益は1,102百万円（前年同期比190.4%増）となりました。

(京樽事業)

京樽事業につきましては、テイクアウト事業では、2022年10月1日にグランドメニューを変更し、同年11月1日からは京樽90周年イベントを実施いたしました。また、セントラルキッチンを活用を強化するなど、コスト改善にも取り組みました。

みさきブランドでは、月替わりと週替わりの2本立てで販促を行い、商品に変化をつけて来店客数の増加を図りました。2022年12月には、回転寿司みさきにおいて、「天然魚×赤シャリフェア」を開催し、通常提供している、赤酢をブレンドしたシャリ（赤シャリ）の赤酢割合を増やした赤シャリに天然魚を組み合わせた寿司を提供いたしました。

以上の結果、京樽事業の売上収益は6,329百万円（前年同期比10.9%増）、セグメント損失は173百万円（前年同期セグメント損失527百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

(資産)

総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,496百万円減少し、330,486百万円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,048百万円減少し、66,945百万円となりました。これは主に、営業債権及びその他の債権が3,141百万円増加し、棚卸資産が801百万円増加した一方で、現金及び現金同等物が5,749百万円減少したこと等によるものであります。

非流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ448百万円減少し、263,541百万円となりました。これは主に、減価償却費の計上等により有形固定資産が390百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,212百万円増加し、268,060百万円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ22,371百万円増加し、76,437百万円となりました。これは主に、社債の一部における非流動負債からの振り替えに伴い、社債及び借入金が19,976百万円増加したこと等によるものであります。

非流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ21,159百万円減少し、191,622百万円となりました。これは主に、社債の一部における流動負債への振り替え及び借入金の返済により、社債及び借入金が増加した20,973百万円減少したこと等によるものであります。

(資本)

資本合計は、前連結会計年度末に比べ2,708百万円減少し、62,427百万円となりました。これは主に、利益剰余金が配当金の支払により2,603百万円減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5,749百万円減少し、44,888百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、6,459百万円（前年同期比20.7%減）となりました。

これは主に、税引前四半期利益1,078百万円、減価償却費及び償却費6,340百万円、減損損失984百万円の計上、営業債務及びその他の債務の増加が2,242百万円あった一方で、営業債権及びその他の債権の増加が3,174百万円、法人所得税の支払額が347百万円、賞与引当金の減少が803百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、4,123百万円（前年同期比7.1%減）となりました。

これは主に、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出が3,738百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、7,571百万円（前年同期比14.6%減）となりました。

これは主に、リース負債の返済による支出が4,060百万円、長期借入金の返済による支出が1,002百万円、配当金の支払額が2,511百万円あったこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年11月4日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。なお、連結業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、景気動向等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	50,637	44,888
営業債権及びその他の債権	11,397	14,538
棚卸資産	3,534	4,335
その他の金融資産	457	568
その他の流動資産	1,967	2,616
流動資産合計	67,993	66,945
非流動資産		
有形固定資産	162,490	162,100
のれん	30,371	30,371
無形資産	55,968	55,881
持分法で会計処理されている投資	178	149
敷金及び保証金	13,420	13,494
その他の金融資産	541	541
繰延税金資産	191	191
その他の非流動資産	830	813
非流動資産合計	263,990	263,541
資産合計	331,982	330,486
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	27,435	29,159
社債及び借入金	4,009	23,985
未払法人所得税	189	177
リース負債	15,650	15,804
その他の金融負債	963	1,244
引当金	2,347	1,522
その他の流動負債	3,473	4,546
流動負債合計	54,067	76,437
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	23	23
社債及び借入金	88,923	67,950
リース負債	105,624	105,367
その他の金融負債	100	100
引当金	4,012	4,074
繰延税金負債	14,092	14,102
その他の非流動負債	5	6
非流動負債合計	212,781	191,622
負債合計	266,848	268,060
資本		
資本金	100	100
資本剰余金	15,692	15,691
利益剰余金	47,579	45,647
自己株式	△1,894	△1,880
その他の資本の構成要素	3,639	2,809
親会社の所有者に帰属する持分合計	65,117	62,367
非支配持分	18	59
資本合計	65,134	62,427
負債及び資本合計	331,982	330,486

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	71,601	68,004
売上原価	△33,668	△30,223
売上総利益	37,933	37,780
販売費及び一般管理費	△32,889	△35,915
その他の収益	1,323	708
その他の費用	△898	△1,004
営業利益	5,469	1,570
金融収益	106	8
金融費用	△207	△471
持分法による投資損益 (△は損失)	△113	△29
税引前四半期利益	5,255	1,078
法人所得税費用	△1,865	△365
四半期利益	3,389	713
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	3,388	671
非支配持分	1	43
四半期利益	3,389	713
1 株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	29.23	5.80
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	29.07	5.77

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	3,389	713
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	574	△932
純損益に振り替えられる可能性のある項目 合計	574	△932
税引後その他の包括利益	574	△932
四半期包括利益	3,963	△219
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	3,962	△260
非支配持分	1	41
四半期包括利益	3,963	△219

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2021年10月1日時点の残高	100	15,755	46,584	△0	1,130	63,569	4	63,573
四半期利益			3,388			3,388	1	3,389
その他の包括利益					574	574	0	574
四半期包括利益合計	—	—	3,388	—	574	3,962	1	3,963
自己株式の処分		△11		29	△5	13		13
自己株式の取得		△20		△2,000		△2,020		△2,020
株式に基づく報酬取引					91	91		91
配当金			△2,612			△2,612		△2,612
所有者との取引額合計	—	△31	△2,612	△1,971	86	△4,527	—	△4,527
2021年12月31日時点の残高	100	15,724	47,361	△1,971	1,790	63,003	6	63,009

当第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2022年10月1日時点の残高	100	15,692	47,579	△1,894	3,639	65,117	18	65,134
四半期利益			671			671	43	713
その他の包括利益					△931	△931	△1	△932
四半期包括利益合計	—	—	671	—	△931	△260	41	△219
自己株式の処分		△12		14	△2	1		1
自己株式の取得				△0		△0		△0
新株予約権の失効		11			△11	—		—
株式に基づく報酬取引					113	113		113
配当金			△2,603			△2,603		△2,603
所有者との取引額合計	—	△1	△2,603	14	101	△2,489	—	△2,489
2022年12月31日時点の残高	100	15,691	45,647	△1,880	2,809	62,367	59	62,427

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	5,255	1,078
減価償却費及び償却費	5,234	6,340
減損損失	797	984
金融収益	△82	△8
金融費用	206	471
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,510	△803
敷金及び保証金の家賃相殺額	67	67
持分法による投資損益 (△は益)	113	29
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	1,598	△3,174
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△566	△816
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	4,225	2,242
その他	△115	685
小計	15,221	7,095
利息及び配当金の受取額	4	8
利息の支払額	△189	△298
法人所得税の支払額	△6,896	△347
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,139	6,459
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,711	△3,738
無形資産の取得による支出	△380	△152
敷金及び保証金の差し入れによる支出	△367	△320
その他	21	86
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,437	△4,123
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,002	△1,002
リース負債の返済による支出	△3,300	△4,060
支払手数料の支払による支出	△1	—
自己株式の取得による支出	△1,998	△0
新株予約権の行使による収入	—	0
配当金の支払額	△2,567	△2,511
その他	3	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,864	△7,571
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,162	△5,235
現金及び現金同等物の期首残高	29,367	50,637
現金及び現金同等物に係る換算差額	205	△514
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,411	44,888

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

①報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、主に事業別のセグメントから構成されております。

各報告セグメントに含まれる主要ブランドは以下のとおりであります。

国内スシロー事業：国内で展開する「スシロー」及びテイクアウト専門店

海外スシロー事業：海外で展開する「スシロー」及びテイクアウト専門店

京樽事業：株式会社京樽が運営する全ブランド（主要ブランド「京樽」・「回転寿司みさき」・「海鮮三崎港」）

その他事業：株式会社FOOD & LIFE INNOVATIONS が運営する全ブランド(主要ブランド「杉玉」)

②報告セグメント売上収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる売上収益及び業績は以下のとおりです。

前第1四半期連結累計期間（自 2021年10月1日 至 2021年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額合計 (注) 2	連結合計
	国内スシロー事業	海外スシロー事業	京樽事業	その他事業			
売上収益							
外部収益	57,424	7,493	5,708	977	71,601	—	71,601
セグメント間収益	68	—	—	—	68	△68	—
計	57,491	7,493	5,708	977	71,669	△68	71,601
セグメント利益又は損失(△は損失) (注) 1	4,829	379	△527	△233	4,449	1,019	5,469
その他の項目							
減価償却費及び償却費	3,842	840	384	86	5,152	82	5,234
減損損失	292	72	303	130	797	—	797

(注) 1. セグメント利益又は損失は要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額1,019百万円には、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

当第1四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2022年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額合計 (注) 2	連結合計
	国内ス ロー事業	海外ス ロー事業	京樽事業	その他事業			
売上収益							
外部収益	46,680	13,845	6,213	1,265	68,004	—	68,004
セグメント間収益	—	—	116	5	120	△120	—
計	46,680	13,845	6,329	1,270	68,124	△120	68,004
セグメント利益又は 損失(△は損失) (注) 1	39	1,102	△173	△29	939	630	1,570
その他の項目							
減価償却費及び償 却費	4,051	1,614	400	151	6,216	124	6,340
減損損失	861	98	26	—	984	—	984

(注) 1. セグメント利益又は損失は要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額630百万円には、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

(販売費及び一般管理費)

販売費及び一般管理費の内訳は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
従業員給付費用	19,062	19,617
減価償却費及び償却費	5,212	6,327
水道光熱費	1,486	2,381
支払手数料	1,112	1,390
その他	6,017	6,201
合計	32,889	35,915

(1株当たり利益)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
親会社の普通株主に帰属する四半期利益(百万円)	3,388	671
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する普通株主に係る四半期利益(百万円)	3,388	671
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する普通株主に係る四半期利益(百万円)	3,388	671
基本的期中平均普通株式数(株)	115,910,960	115,675,062
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に用いられた普通株式増加数(株)	645,163	629,589
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	116,556,123	116,304,651
基本的1株当たり四半期利益(円)	29.23	5.80
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	29.07	5.77
希薄化効果を有しないため、希薄化後1株当たり四半期利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	新株予約権2種類 (普通株式145千株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。